

海外安全対策情報（2021 年 10 月～12 月：コロンビア）

1 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

ボゴタ市、メデジン市、カリ市等の都市部を含め、窃盗・強盗の一般犯罪被害が昼夜を問わず多発している。比較的治安が良いとされる地域でも、飲食店内の置き引き、バイクを利用した強盗・ひったくり、夜間の路上強盗等の発生が見られる。また、SNSを通じて知り合いになり、飲食店や自宅等で飲食をする機会に乗じて、飲食物に睡眠薬を混入させて意識を失わせる睡眠薬強盗被害や、警察官に成りすまして職務質問を装い金品をだまし取る等、様々な手口の犯罪が見られる。

2020 年 3 月以降の新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出制限措置の影響で、一時的に犯罪統計の減少が見られたが、外出制限緩和以降、特にスマートフォンを狙った強盗やひったくりなどをはじめとする犯罪件数が再度増加しており、大きな治安改善は認められない。

被害に遭わないためには、人気のない道路は日中でも注意する、身の回りの物から目を離さない、怪しい人物に狙われていないか注意する等、常に警戒を怠らない心構えが必要である。万が一、強盗やひったくりに遭った場合は、生命を第一に考え、絶対に抵抗せず、盗まれた物を取り返そうとしてはいけない。

（２）邦人犯罪被害事案

- ・ 11 月 18 日午後 0 時ころ、被害者が数人でボゴタ市北部の飲食店で、現金やクレジットカード、旅券等の入った小さな鞆を体の脇に置いて食事をしていたが、食事を終えたところでその鞆がなくなっているのに気づき、盗難被害に遭ったことが判明した。
- ・ 12 月 7 日午後 0 時ころ、被害者がボゴタ市北部の飲食店前の歩道上で待ち合わせをしていたところ、通りがかった男から被害者が手に持っていたスマートフォンをひったくられる被害を受けた。犯人は、近くで待機していた仲間のバイクに乗って逃走した。

2 テロ・爆弾事件発生状況・関連報道

E L N、F A R C 離反兵等の反政府武装組織の活動が活発な地域で、治安当局やインフラ施設に対するテロ事件が発生している。ボゴタ市では 2017 年 6 月、ショッピングセンター「アンディーノ」においてフランス人女性を含む 3 名が死亡する無差別テロ事件が発生しているほか、2019 年 1 月にも市内の警察学校内で E L N による自動車爆弾テロで学生 22 名が死亡するなど、今後もテロへの警戒は必要である。

- ・ 10 月 2 日、アラウカ県タメ市において、パトロール中の軍人や警察官を狙った爆弾テロにより、軍人 1 名が死亡、警察官 2 名が負傷した。

- ・ 12月14日、ノルテ・デ・サントアンデル県ククタ市のカミーロ・ダサ空港で滑走路付近に爆弾を仕掛けようとしていたところ爆発し犯人1名が死亡、さらに空港直近の道路に仕掛けられていた別の爆弾が爆発し、対応に当たっていた警察官のうち2名が死亡した。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

ELN等の反政府武装組織や麻薬犯罪組織が、身代金目的の誘拐、恐喝、脅迫を行い、資金源としている。都市部では犯罪組織による偽装タクシーを使用した短時間誘拐の犯行もあることから、流しのタクシー（タクシーアプリ等で呼ぶ無線タクシーではないもの）は利用しない等の注意が必要である。